

風力発電システム（初級）

受講料 25,000 円

洋上風力発電システムの機械、電気の基本と、維持管理手法を概説する。

後期開講 10月26日(月) 13:00～18:15 1日集中講義

受講条件：特になし

目 標：風力発電システムの初級エンジニアとして必要な工学知識を習得する。

形 態：対面（及びオンライン）授業。実際の授業時間後に、録画した動画を視聴し受講することも可。



田中 元史 教授
九州大学
RECOW



大迫 俊樹 教授
九州大学
RECOW

特別講義

株式会社 北拓

風況・海象（初級）

受講料 30,000 円

日本の気象・海象に対応した野外観測手法、数値シミュレーション手法、室内実験手法の基本を身につける。

後期開講 8月20日(月) 9:00～16:40 1日 集中講義

受講条件：原則、九州大学筑紫キャンパス（福岡県春日市）で開催する対面講義、実習に参加が可能なこと。（交通費、宿泊費は受講者負担）

目 標：風況・海象の基礎知識を理解するとともに、実際の問題に対する解析能力を身に付ける。

形 態：原則対面講義、実習。（一部オンライン対応）



胡 長洪 教授
九州大学
応用力学研究所



内田 孝紀 教授
九州大学
応用力学研究所

浮体設計・支持構造物（初級）

受講料 56,000 円

洋上風力発電設備支持構造物（特に浮体式）の概要と特徴、その設計における留意点等について概説する。

後期開講 2日間 集中講義

受講条件：特になし。

目 標：洋上風力発電設備支持構造物（特に浮体式）の設計の全体像を理解し、設計・開発にあたっての基礎知識を習得する。

形 態：対面（及びオンライン）授業。実際の授業時間後に録画した動画を視聴し受講することも可。



宇都宮 智昭 教授
九州大学
工学研究院

特別講義

（一財）日本海事協会

Mott MacDonald Japan 株式会社

環境計画・調査

受講料 70,000円

洋上風力発電を考える上で必要な海域（海洋・沿岸・海岸）生態系および主要な生物の基礎を学ぶ。現地踏査を通じて、実地での観察を行い、理解を深める。地域知を活用した自然共生社会、合意形成について理解し、風力を活用した自然エネルギーの質の高い利用を考える。

後期開講 10月19日(月)～10月20日(火) 2日間 集中講義

受講条件：特になし。工学系の受講者が主であることを想定して授業を実施する。

目 標：沿岸域のアセスメントやモニタリング項目との対応関係を理解し、質の高い調査、設計、計画、合意形成、事業ができるようになる。



清野 聡子 准教授
九州大学
大学院工学研究院環境社会部門



洋上風力発電人材育成講座 2026

洋上風力発電人材育成コンソーシアム事務局



<https://recow.kyushu-u.ac.jp/>



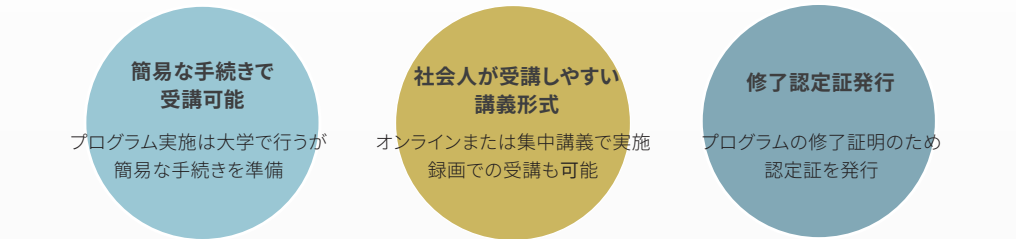
〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1 九州大学筑紫キャンパス
オープンイノベーション棟 1F TEL: 092-583-7864

JR 鹿児島本線「大野城駅」に隣接。西鉄天神大牟田線「白木原駅」から徒歩 約 15 分
九州自動車道 太宰府インターチェンジから一般道 約 10 分
※車両入構は春日門（春日公園側）のみ可能

洋上風力発電人材育成講座

九州大学、佐賀大学、北九州市立大学及び熊本大学（洋上風力発電人材育成コンソーシアム）は、洋上風力に関わる計画、設置、運営、維持及び撤去の一連のプロジェクトフェーズに必須となるエンジニアリング等の専門知識・能力を培うことができる人材育成プログラムとして、洋上風力発電人材育成講座を構築・運用しています。

当講座は洋上風力発電人材育成コンソーシアムに所属する大学が大学院生・大学生向けに実施している洋上風力発電に係る講義をベースに、洋上風力産学官連携コンソーシアム等の協力を得ながら人材育成プログラムの構築を進めています。



講座内容について

2026年度の詳細については、九州大学洋上風力研究教育センター（RECOW）のホームページにてご確認ください。各講座の詳細情報もホームページにて確認いただけます。

<https://recow.kyushu-u.ac.jp/hrd/>

2026年度 開講講座

前期開講		後期開講	
洋上風車工学	浮体設計	洋上風力入門	気象・海象条件評価
海底地盤調査	風車の基本	事業性評価	支持構造物
通常講座（学部レベル）		通常講座（大学院レベル）	
短期集中講座		風力発電システム（初級）	風況・海象（初級）
		浮体設計・支持構造物（初級）	環境計画・調査

通常講座

浮体設計 全15回（週1回90分）受講料 95,000 円

浮体の波浪中応答解析法の基礎理論を理解するとともに、実際の問題に対する解析能力を身に付ける。前期開講の浮体設計では、主にポテンシャル理論により浮体の応答関数を求めるところまでを主な範囲とする。（前期に浮体設計、後期に支持構造物について実施予定）

前期開講（4月14日～8月4日 毎週火曜日 10:30 ～ 12:00）

受講条件：流体力学、振動工学、複素関数論に関する基礎的事項を理解していることが望ましい。

目標：浮体の波浪中応答解析法の基礎理論を理解するとともに、実際の問題に対する解析能力を身に付ける。

形態：オンライン授業

宇都宮 智昭 教授
九州大学
工学研究院

洋上風車工学 全15回（週1回90分）受講料 95,000 円

洋上風力エネルギー、ならびに、それらの利用技術に関して、エネルギー変換の基本原則、解析法、機器設計、評価法などを身に付ける。

前期開講（4月10日～7月31日 毎週金曜日 8:50 ～ 10:20）

受講条件：流体力学 / 流体力学、振動工学を理解していることが望ましい。課題では、MS Excelを使用する。

目標：風車の設計・解析に関する基礎的な知識を習得する。

形態：オンライン授業

吉田 茂雄 教授
佐賀大学
海洋エネルギー研究所

特別講義

株式会社日立製作所・
合同会社風力発電機研究所
五洋建設株式会社

海底地盤調査 全15回（週1回90分）受講料 95,000 円

海底地盤調査に関する各種手法の基礎的な知識・技術について講義する。さらに、実際の事業での海底地盤調査の実施方法、データの活用方法について講義を行う。

前期開講（6月16日～8月6日 毎週火・木曜日 10:30 ～ 12:00）

受講条件：土質力学・地盤工学に関する基礎的事項を理解していることが望ましい。

目標：海底地盤調査の基礎知識を理解するとともに、実際のデータの解釈方法について理解する。

形態：オンライン授業

高野 大樹 准教授
熊本大学
大学院先端科学研究部
土木環境分野

特別講義

基礎地盤コンサルタンツ / JOGMEC
Mott MacDonald Japan 株式会社

洋上風力入門 全8回（週1回90分）受講料 56,000円

サイト条件評価、風車工学、支持構造物・浮体設計、事業性評価の各々のエッセンスを入門的に学ぶ。

後期開講（10月7日～11月25日 毎週水曜日 14:50 ～ 16:20）

受講条件：特になし。

目標：洋上風力発電に関する全体像を理解するとともに、今後さらに学習を深める上での動機付けをおこなう。

形態：オンライン授業

宇都宮 智昭 教授
九州大学
工学研究院

胡 長洪 教授
九州大学
応用力学研究所

内田 孝紀 教授
九州大学
応用力学研究所

吉田 茂雄 教授
佐賀大学
海洋エネルギー研究所

牛原 義明 教授
北九州市立大学
経済学部

早測 百合子 教授
九州大学
RECOW

特別講義

丸紅洋上風力開発株式会社 / Mott MacDonald Japan 株式会社 等

支持構造物 全15回（週1回90分）受講料 95,000 円

浮体の波浪中応答解析法の基礎理論を理解するとともに、実際の問題に対する解析能力を身に付ける。後期開講の支持構造物においては、周波数領域・時間領域それぞれの応答解析法とともに、風車支持構造物としての風車・浮体・係留連成系としての時刻歴応答解析についても扱う。（前期に浮体設計、後期に支持構造物について実施予定）

後期開講（10月1日～1月28日 毎週水曜日 13:00 ～ 14:30）

受講条件：前期に開講する「浮体設計」を受講済みであることが望ましい。

目標：浮体の波浪中応答解析法の基礎理論を理解するとともに風車支持構造物としての浮体・係留系の解析能力を身に付ける。

形態：オンライン授業

宇都宮 智昭 教授
九州大学
工学研究院

特別講義

関西設計株式会社 / カナデビア株式会社

風車の基本 全4回（週1回90分）受講料 30,000 円

風力発電や風力発電機に関して、これから携わる方、また別の業種から参入された方向けに、入門的な基礎知識や理論を講義する。風車の歴史やさまざまな風車の形、風車の技術理論をかみくだいての説明、さまざまな用語の解説などを説明する。

前期開講（9月2日～9月30日 毎週水曜日 10:30 ～ 12:00）

受講条件：風力発電に携わる方、また勉強をしている、これから始めたい方。

目標：風力発電業界での専門用語が理解できる。風車の理論の基礎的な部分を理解できる。

形態：オンライン授業。

飛永 育男氏
合同会社風力発電機研究所

古川 雅人 特任教授
九州大学
RECOW

気象・海象条件評価 全15回（週1回90分）受講料 95,000円

日本の気象・海象に対応した観測やシミュレーション手法、風車配置最適化手法を学ぶことにより、対象区域の発電量ポテンシャルを導く方法論を身に付ける。

後期開講（10月6日～2月2日 毎週火曜日 10:30 ～ 12:00）

受講条件：流体力学に関する基礎的事項を理解していることが望ましい。

目標：サイト条件評価の基礎知識を理解するとともに、実際の問題に対する解析能力を身に付ける。

形態：オンライン授業

内田 孝紀 教授
九州大学
応用力学研究所

胡 長洪 教授
九州大学
応用力学研究所

山形 幸彦 准教授
九州大学
総合理工学研究院

特別講義

ENEOS リニューアル・エナジー株式会社
いであ株式会社 / 日本気象株式会社
カナデビア株式会社 / 株式会社 東芝
株式会社ユラス エナジーホールディングス 等

事業性評価 全15回（週1回90分）受講料 95,000 円

洋上風力発電事業は経済、社会（地域）、環境に配慮する必要がある。そのために必要な環境評価、経済評価の手法を身に付ける。

後期開講（10月1日～1月28日 毎週水曜日 10:30 ～ 12:00）

受講条件：特になし。工学系の受講者が主であることを想定して授業を実施する。

目標：温室効果ガス排出算定法、経済性、環境影響評価、社会的受容などの基礎と応用を理解する。

形態：オンライン授業

牛原 義明 教授
北九州市立大学
経済学部

竹内 彩乃 准教授
東邦大学
理学部

早測 百合子 教授
九州大学
RECOW

特別講義

Mott MacDonald Japan 株式会社 / 戸田総合弁護士事務所
ホライズン・オーシャン・マネジメント株式会社 / 九電みらいエナジー株式会社
東京海上日動火災保険 等